

2024年度 編入学選抜〔A日程〕

小論文問題

(文学部 英文学科)

ウィリアム・シェイクスピアの『ロミオとジュリエット』の一節“A rose by any other name would smell as sweet”（バラは違う名前でも同じように甘く香るだろう）は、言語とそれが表す物事の間をめぐり議論において、現在もなお頻りに引用されている。この一節について、以下の2つの設問を解答しなさい。

- (1) 引用の一節は、言語と物事のどのような関係を表していると考えられるか、200字以内で説明しなさい。
- (2) 言語と物事の間について、自分の考えを600字以内で論じなさい。

注意

- (1) 答案用紙には受験学科・受験番号だけを記入し、氏名は絶対記入しないこと。
- (2) 答案は横書きとし、問題の字数に従い解答すること。
- (3) 答案は1行目から本文を書き始め、問題は書かないこと。